

2022年 市民自然環境調査

みちかな季節かんじ隊

調査結果報告書（ヒガンバナ）



下増田町

目次

1 調査の目的	5 調査地点
2 調査の内容	6 参加者の声・写真
3 調査の結果	7 参考資料
4 調査データ	8 事務局より

令和4年10月
前橋市 環境部 環境森林課



1 調査の目的

環境基本計画が位置づける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために、令和3年から、次世代を担うこども達をはじめ広く市民に対して自然環境調査を実施しています。身近な生物を通じて自然に触れ、継続して調査をすることによって前橋市域の自然環境やその変化を知り、環境保全に対する意識啓発を図ることを目的にヒガンバナの調査を実施しました。

2 調査の内容

調査の対象は、私たちが身近な自然として感じられることや、調査対象が市内各所にあることを勘案し、「ヒガンバナ」としました。

(1) 調査の方法

- ①調査に参加する方を募集します。(調査に参加する方を「隊員」といいます。)
- ②隊員は、調査するヒガンバナを決め、調査を行います。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出します。

(2) 調査の概要

テーマ	調査内容	調査期間
ヒガンバナの調査	開花日	8月15日(月)～9月30日(金)

3 調査の結果

ヒガンバナ

- ・調査隊員数：31名
- ・調査地点数：40地点
- ・開花日：9月4日～9月24日
- ・平均開花日：9月12日



〈参考①〉R3みちかな季節感じ隊調査結果

- ・調査隊員数：35名
- ・調査地点数：36地点
- ・開花日：8月26日～9月20日
- ・平均開花日：9月11日

〈参考②〉前橋地方気象台の観測データ

観測	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2
初見日	9月14日	9月20日	9月11日	9月14日	9月25日	9月28日
平年差	+1	+7	-2	+1	+12	+15
昨年差	+2	+6	-9	+3	+11	+3

平年差(昨年差)が、正の数の場合「平年(昨年)より遅い日数」、負の数の場合は、「平年(昨年)より早い日数」を示しています。

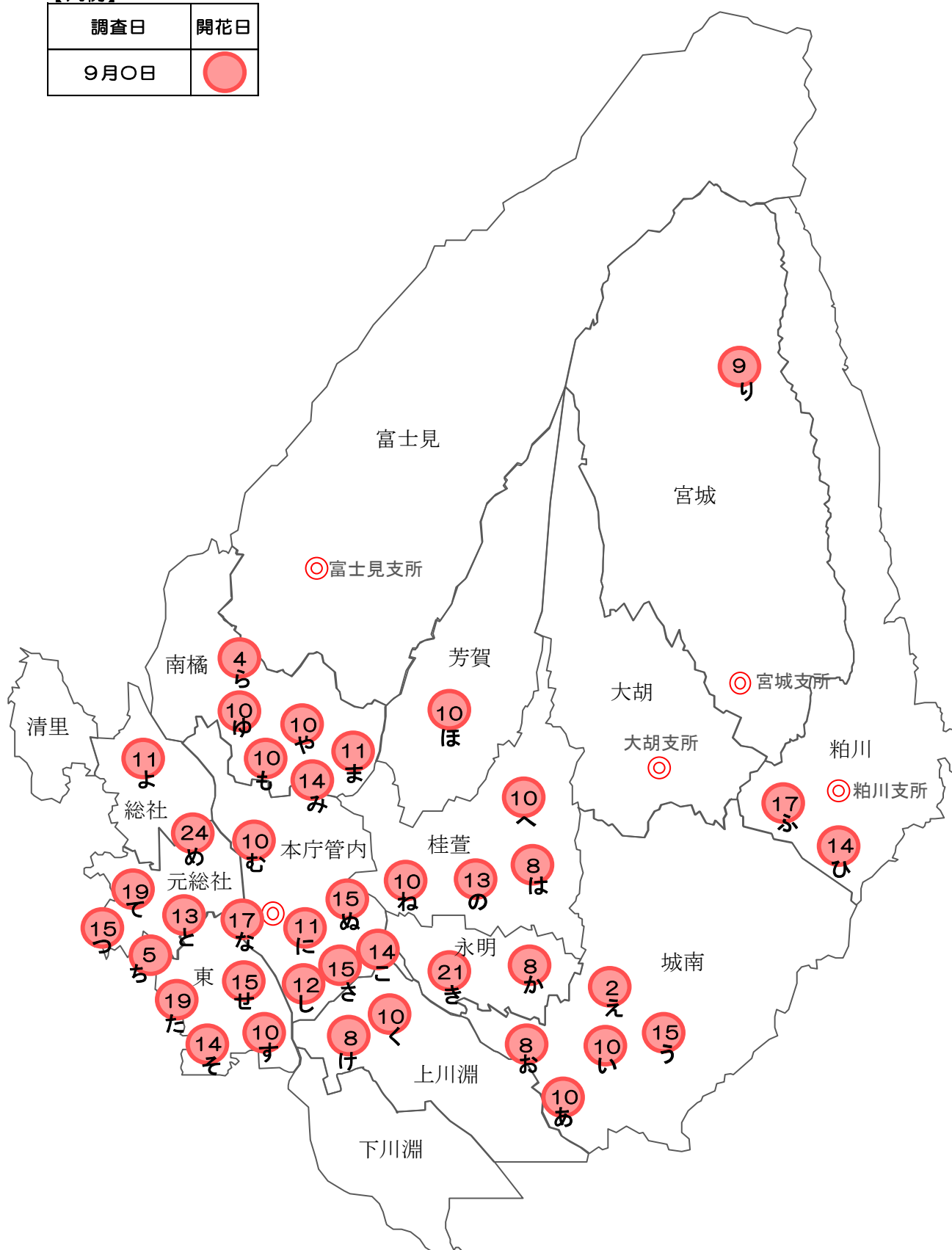
4 調査データ

調 査 結 果 集 計 表						
番号			調査場所		調査結果	
1	2	3	4	5	6	7
番 号	隊 員 番 号	調 査 地 点	町 名	地 点 名	開 花 日	周 辺 環 境
1	14	あ	下増田町	両毛線南川の畔	9月10日	田んぼ・畑
2	1	い	下増田町	田んぼ(広瀬川右岸)	9月10日	田んぼ・畑
3	14	う	下増田町	下増田運動場周辺	9月15日	土手
4	14	え	上増田町	サッカーグラウンド	9月2日	田んぼ・畑
5	14	お	小屋原町	木瀬中学校周辺	9月8日	土手
6	6	か	上長磯町	たんぼのあぜ道	9月8日	田んぼ・畑
7	28	き	下大島町	下大島第二公園	9月21日	公園・墓地
8	12	く	上佐鳥町	西光寺の北側土手	9月10日	土手
9	4	け	後閑町	自宅	9月8日	住宅街
10	19	こ	天川原町	天川原中央公園	9月14日	公園・墓地
11	13	さ	天川原町	天川原中央公園	9月15日	公園・墓地
12	7	し	平和町一丁目	広瀬川石川橋	9月12日	その他
13	22	す	小相木町	近所の家の庭	9月10日	住宅街
14	5	せ	下新田町	新田小東利根川サイクリング土手道	9月15日	土手
15	26	そ	箱田町	自宅地内	9月14日	住宅街
16	11	た	箱田町	滝川	9月19日	土手
17	17	ち	光が丘町	第二公園	9月5日	住宅街
18	27	つ	元総社町	自宅	9月15日	住宅街
19	16	て	元総社町		9月19日	土手
20	3	と	元総社町	染谷公民館(染谷川遊歩道)	9月13日	土手
21	15	な	文京町	自宅	9月17日	住宅街
22	7	に	平和町	広瀬川石川橋北川駐車場	9月11日	その他
23	10	ぬ	大手町	庭先	9月15日	住宅街
24	14	ね	上沖町	群馬県民健康科学大学入口	9月10日	学校・公共施設
25	18	の	亀泉町	田んぼの畦道	9月13日	田んぼ・畑
26	23	は	上泉町	新田塚周辺の田んぼ畦	9月8日	田んぼ・畑
27	21	ひ	粕川町	粕川河川敷	9月14日	土手
28	9	ふ	粕川町	元氣ランド近辺	9月17日	住宅街
29	29	へ	上泉町	自宅近くの土手	9月10日	田んぼ・畑
30	20	ほ	鳥取町	田んぼの畦道	9月10日	田んぼ・畑
31	14	ま	上細井町	南橋忠霊塔	9月11日	公園・墓地
32	25	み	上細井町	八幡山公園	9月14日	公園・墓地
33	14	む	文京町	二子山古墳周辺	9月10日	公園・墓地
34	30	め	石倉町	畑	9月24日	田んぼ・畑
35	14	も	上細井町	市立前橋高校道路沿い	9月10日	土手
36	8	や	上細井町	五反田団地	9月10日	土手
37	14	ゆ	荒牧町	桃木川遊歩道付近	9月10日	住宅街
38	24	よ	総社町植野	二子山古墳の脇	9月11日	住宅街
39	31	ら	川端町	水路脇	9月4日	田んぼ・畑
40	2	り	苗ヶ島町	千本桜公園東	9月9日	森・林
集計					9月12日 (平均値)	

5 調査地点【開花日】

【凡例】

調査日	開花日
9月〇日	



6 参加者の声と写真（一部抜粋）



け 後閑町

時期になるとニョロニョロと茎が出てきて、丈が 30 cm 近くになると開花しているようです。私の家のは白です。
（隊員番号 15）

今年も美しく咲きました。報告することによって一層、花に興味をもち良いことです。（隊員番号 9）



く 上佐鳥町



て 元総社町

あかがすきだから、あかいろで、きれいだった。
くきがのびているのをみつけてから、
はながさくまでがはやかった。（隊員番号 4）



ふ 粕川町

秋の彼岸の頃、咲く花、ヒガンバナ例年ですと
9月の17日、18日のころに咲きますが、
今年も昨年同様、約1週間早く咲きました。
今年の夏の猛暑が影響しているのでしょうか。
最近、季節に咲く花にも変化が表れているよう
な気がします。（隊員番号 12）



ち 光が丘町



め 石倉町

雨雲レーダーを確認しながら朝の散歩エリアで、
田んぼの土手などで咲き出しました。（隊員番号 1）

ヒガンバナがどこに咲くのか、今まで意識していなかった
ので、観察対象になるヒガンバナを探すのに苦労しました。
（隊員番号 28）



そ 箱田町

昨年（第一回）どのようにいたる所で咲き始めた。
夏に農家さんが何度となく畔の草刈りをされていたので、
芽をつみとられてしまい、咲くことが不可能かと思い、
何度か散歩コースにこの場所を通過するようにつとめました。
すると9月になると草刈りされて草の間からニョキニョキと
芽が出始めました。（隊員番号 14）

芽が出て2・1日で茎が伸び、
つぼみに色が出たのでびっくりした。
しっかり記録したらよかったです。
今は葉がではじめました。（隊員番号 30）

今年もまたヒガンバナの咲く頃がやってきました。
なぜか昔を思い起こさせてくれる花なのです。林下
に楚々と咲く姿におばあちゃんを思い出すのです。
（隊員番号 25）



ら 川端町

この夏は大変暑い日が続きましたので、ヒガンバナが
いつものように咲いてくれるか心配になりました。
木の根元にヒガンバナの芽が出て、
花が咲いた時はとても感動しました。
まさにみづかに季節を感じることができました！
（隊員番号 26）



む 文京町



昨年は9月3日開花でしたが、10日遅い開花となりました。
近年、地球温暖化傾向にあります、開花日に開きがあうので
しっかり観察しないと見落としてしまいます。
気温が快適なシーズンなのでしっかり観察したいと思います。
(隊員番号 18)

へ 上泉町



2004 年ごろから定点観察している場所です。
例年ほかの場所より早く開花します。
2022 年は9月4日に撮影しましたが、
2〜3輪咲いたあとはもう少し早かったと
思われます。
今年のヒガンバナは6月の気温が高かった
こともあり、花芽の生育がよかったせいか、
近隣のどの場所でも花数が多く見事に咲いて
いました。(隊員番号 31)

ら 川端町

7 参考資料

ヒガンバナについて

別名マンジュシャゲと呼ばれる多年草で、秋になると道端や墓地、あぜ道などに集団で花を咲かせる。
日本各地や中国に分布しており、花が終わった後に葉が出る。

種類について

ショウキズイセン：沖縄地方でのヒガンバナの代替品種。黄色い花を咲かせる。
シロバナマンジュシャゲ：ヒガンバナとショウキズイセンの交雑種だと言われており、白色の花を咲かせる。
キツネノカミソリ：オレンジ色でヒガンバナと似た花を咲かせる。花はあまり反り返らない。



8 事務局より

昨年より開始した「ヒガンバナ」の調査ですが、31名の隊員の皆様からご報告をいただきました。昨年に引き続き、隊員の皆様におかれましては、調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

皆様から田んぼや土手、住宅街でヒガンバナを見たという報告が多く、ヒガンバナは身近な植物であるということが、よく伝わる調査結果でした。ヒガンバナは多年草の球根を作ります。また来年も皆様からの報告をお待ちしております。

今後も「みちかな季節かんじ隊」の調査に、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

「前橋市環境都市宣言」

前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しむ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様が改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として四つ目の宣言文となります。